

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年12月24日

計画の名称	姫路市における賑わいと魅力ある多核連携都市の実現(2)											
計画の期間	令和07年度 ~ 令和11年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	姫路市											
計画の目標	<p>急速に進展する人口減少社会の到来による少子高齢化が加速する中、社会経済情勢の変化に的確に対応した安全で快適なまちづくりを実現するため、持続可能な都市構造に向け、地域資源や地域特性を活用しつつ、都市機能を分担して相互補完する「多核連携型都市構造」のさらなる充実が急務となっている。これを受けて、生活基盤となる地域内道路網や広域交通網の整備促進、また、鉄道やバスなど公共交通機関施設等の整備促進により、地域生活圏相互や都心部への移動利便性や安全性の向上を図り、快適で住みよい地域生活圏を形成する。</p> <p>これらの整備を進めることで、市民と来訪者の往来や経済活動を支える交通環境の充実を図り、賑わいと魅力ある優れた地域生活圏の構築による、安全・安心で持続可能な都市構造を持った多核連携都市の実現を目指す。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	12,160	A	12,160	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R7当初)	中間目標値 (R9末)	最終目標値 (R11末)
1	市民1人当たりの公共交通利用回数を103回(R4年度)から135回に増加させる。 姫路市内の鉄道・バス年間乗車人員を測定する。 (市民1人当たりの公共交通利用回数) = (市内の鉄道・バス年間乗車人員) / (人口)	103回	122回	135回
2	道路交通における死傷事故を令和4年と比較して約10%削減する。 姫路市内の死傷事故発生件数を調査する。	2214件	2081件	1992件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	市町村道	改築	(1)川手線(南1工区)	現道拡幅 L=750m W=16.0m	姫路市						516	-	
	A01-002	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	区画	新設	阿保地区((都)大日線ほか3路線)	区画整理 A=90.6ha	姫路市						241	-	
	A01-003	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	新設	(都)広畑幹線ほか1路線	道路新設 L=480m W=22-36m	姫路市						692	-	
	A01-004	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	新設	(都)広畑幹線ほか1路線(橋梁部)	道路新設 L=144m W=26m	姫路市						4,121	-	
	A01-005	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	新設	(都)網干線	道路新設 L=272m W=16-19m	姫路市						857	-	
	A01-006	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)鹿谷田線	現道拡幅 L=625m W=22m	姫路市						1,595	-	
	A01-007	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	新設	(都)網干線(網干工区)	道路新設 L=228m W=12m	姫路市						739	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-008	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	市町村道	改築	高浜113号線ほか1路線	駅前広場再整備 A=4,000m2	姫路市						168	-	
	A01-009	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	市町村道	改築	飾磨174号線ほか1路線	駅前広場再整備 A=2,700m2	姫路市						147	-	
	A01-010	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)西門線	現道拡幅 L=183m W=24m	姫路市						2,128	-	
												小計						11,204	
市街地整備事業	A13-011	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	J R 仁豊野駅地区	駅前広場 A=1,700m2、駅改札口 N=1箇所	姫路市						258	-	
	A13-012	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	山陽電鉄の形駅地区	駅前広場 A=2,900m2、駅改札口 N=1箇所	姫路市						162	-	
												小計						420	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)城北線(西工区)	現道拡幅 L=455m W=30m	姫路市						223	-	
	A01-014	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)内環状東線	現道拡幅 L=190m W=30m	姫路市							20	-
	A01-015	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)内環状東線(北工区)	現道拡幅 L=210m W=30m	姫路市							45	-
	A01-016	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)亀山線	現道拡幅 L=65m W=16m	姫路市							248	-
												小計						536	
												合計						12,160	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	647				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	647				
前年度からの繰越額 (d)	60				
支払済額 (e)	167				
翌年度繰越額 (f)	540				
うち未契約繰越額 (g)	98				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	13.86				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算のため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における賑わいと魅力ある多核連携都市の実現（２）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

(参考図面)

計画の名称	姫路市における賑わいと魅力ある多核連携都市の実現（2）		
計画の期間	令和7年度～令和11年度（5年間）	交付対象	姫路市

